

会長ご挨拶



第18回 日本禁煙科学会学術総会 in 和歌山

会長 中川 利彦

(たばこ問題を考える会・和歌山 事務局長 / 弁護士)

第18回日本禁煙科学会学術総会を、2023年9月30日（土）、10月1日（日）の2日間にわたって、和歌山県民文化会館で開催させて頂くことになりました。

第16回総会と第17回総会は残念ながら完全WEB形式での開催でしたが、本総会は、静岡県立大学で実施された第15回大会にならって、ハイブリッド形式で実施する予定です。

さて、本学術総会のテーマは「多職種、多機関連携による禁煙社会の実現」とさせていただきます。

和歌山県は、2002年4月、日本ではじめて都道府県として公立学校全部の敷地内禁煙を実現したことで有名ですが、この画期的な施策が和歌山県で実現し定着したのは、医療関係者、県教育委員会・教職員など教育関係者、県（行政機関）、そして市民団体など多くの関係機関と関係者の連携によるものです。日本禁煙科学会によって2021年創設された畑中孝之賞（禁煙教育推進賞）にお名前が冠されている畑中さんは、たばこによる喉頭がんで声帯を切除した経験から、たばこ問題を考える会・和歌山の代表世話人として、その半生を禁煙教育に捧げられました。

このように和歌山で、そして全国で実践されてきた多職種・多機関連携による禁煙推進活動について振り返りつつ、全国の皆様方の今後の活動につながる学術総会になればと願っています。

和歌山は、海の幸・山の幸が豊富で、和歌山ラーメンも有名です。白浜ではパンダが皆様を歓待してくれるでしょう。

気候も良いこの機会に、是非ご家族連れで和歌山までお越しください。